

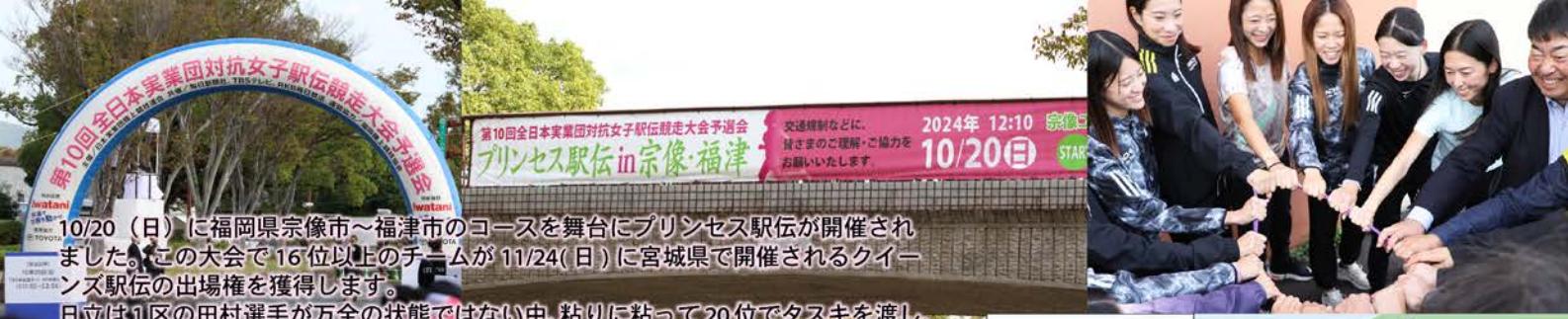


プリンセス駅伝 2024

10/20日 第10回全日本実業団対抗女子駅伝大会予選会
福岡県 宗像市・福津市

2年連続入賞で本戦出場の切符を掴む！





10/20（日）に福岡県宗像市～福津市のコースを舞台にプリンセス駅伝が開催されました。この大会で16位以上のチームが11/24(日)に宮城県で開催されるクイーンズ駅伝の出場権を獲得します。

日立は1区の田村選手が万全の状態ではない中、粘りに粘って20位でタスキを渡し、2区のルーキー奥本選手は持ち前のスピードを生かした走りで6人を抜いて上昇の流れを作りました。

各チームのエース級選手が集まるエース区間の3区で小井戸選手が一步も引かない走りを見せて順位を一つ上げ、唯一外国人選手が走れるインターナショナル区間の4区で鈴木樺連選手が日本人選手区間トップの好走。

続く5区は3区同様の長距離区間で、強い向かい風と起伏のあるこの駅伝一番の難コースを鈴木千晴選手が最後まで強気の走りで押し切り、区間3位の好走で5人抜きの力走を見せました。

アンカーの花野選手もタスキを受け取ってから、攻めの走りを貫き、区間3位の好走で8位となり、2年連続の入賞で本戦出場の切符を掴み取りました。

また、当日は200名を超える大応援団にも現地に駆けつけていただき、沿道から選手の背中を後押しする熱い声援を送っていました。

- 第一区 7 km
- 第二区 3.6 km
- 第三区 10.7 km
- 第四区 3.8 km
- 第五区 10.4 km
- 第六区 6.695 km
- 全6区間 42.195 km



田村紀薰選手 23分28秒 区間20位

現地での黄色い大応援団の皆さん、そしてテレビからもたくさんの方々の応援ありがとうございました。

今回は1区を担当し、20位とかなり出遅れてしまいチームへ不安を与える走りとなってしまいました。レースの数週間前から、とにかく自分が責任をもって流れを作らなくてはという焦りと、でも1区を走り切れる練習は出来ていないという不安が混ざり合う思いが、走りに出てしまったように思います。

ですが、後輩選手たちに支えられて無事に予選通過だけでなく8位入賞を果たすことができ、こんなにも頼もしいチームで走ることができて幸せだなと感じました。チームメイト、スタッフ、そして応援をくださった皆さまの力で獲得したクイーンズ駅伝出場権ですので、今回迷惑をかけてしまった分も含めて、もっとスタッフとしても、選手としてもチームの力となるよう取り組んでまいります。仙台でもLAURUSの応援をどうぞよろしくお願いいたします！



宗像ユリックス
宗像大社

奥本菜瑠海選手 11分31秒 区間6位



宗像大社
勝浦浜

プリンセス駅伝では2区を走らせて頂きました。私は直前まで練習が全くできておらず走れるかどうかわからない状態でしたが、ギリギリである程度走れるようになりメンバーに選んでいただくことが出来ました。選んでいただいたからにはチームにしっかり貢献するぞという気持ちで、スタートしてからはひたすら前を追って走りました。走っている時に皆さんの応援のおかげで、踏ん張ることができ6人抜きの区間6位という結果でした。

他チームの同期に負けてしまっていたので悔しい気持ちもありましたが、今の自分に出来る全力は出せたと思いますし、自分らしい走りや強気の走りという感覚が少し戻ってきました。ですがまだまだ本調子の私ではないですし、来月にはクイーンズ駅伝に出場してクイーンズ8に挑まないといけないので、残り1ヶ月という時間の中で自分の出来る最大限のことをしてクイーンズ駅伝に挑めるように頑張りたいと思います。来月のクイーンズ駅伝もチームみんなで力を合わせて全力で挑みますので応援よろしくお願いします。たくさんの応援本当にありがとうございました。



小井戸 涼選手

35分32秒 区間13位

今回、3区を走らせていただきました。

自分自身、今年は思うような成績が残せていないのでエース区間を走ることに対して不安な気持ちでいっぱいでしたが、「一人じゃない」と言い聞かせて、皆さまからの応援も力に変えて最後まで諦めずに櫻を繋ぐことができました。

後半は良い走りができなくて悔しい気持ちが大きいですが、駅伝の醍醐味と素晴らしいしさを少しは伝えられたと思いますし、自分でも実感することができました。

8位以内というチームの目標も達成できて弾みをつけることができたと思うので、来月のクイーンズ駅伝でもチームの力になれるように精一杯頑張りたいと思います。

たくさんの応援ありがとうございました。



鈴木 樺連選手

12分39秒 区間13位
(日本人1位)

今回のプリンセス駅伝でも、現地やテレビの前でたくさんの応援をありがとうございました。私自身、怪我明けだったこともあり、起用してもらえるか分からず毎日がドキドキだったので、本番は4区を走らせていただくことができました。職場の方には、「走れるかどうか分かりませんが、最後まで諦めずに準備します!」と宣言してから現地に出発したので、当日は元気に走っている姿をお見せすることができたかなと思います。誰にも言ってなかったのですが、実はひそかに4区での日本人トップを狙っていたので、個人でもチームでも目標を達成することができ、本当に日立の方々には感謝の気持ちでいっぱいです。来月にあるクイーンズ駅伝が本番となるので、今年は昨年以上の成績を収められるようにしっかり準備していきます。

鈴木 千晴選手

35分36秒 区間3位

熱い応援ありがとうございました。

今回は5区を走らせていただき、強い向かい風が吹くタフなコンディションでしたが、持ち味の逆境に対する強さとマラソンで培ってきたスタミナで自信を持って最後まで力を出し切る走りができました。

レースへ臨むにあたり、元気な走りをすることで皆様に追い風を吹かせるようになりたいという気持ちがありました。

夢と目標に向かえることがどれだけ素晴らしいことかを教えてくれた方々がいるからこそ、私はこれからも挑戦していくことを走りで表現していきたいと思っています。

本戦でもチームとして更に成長した走りを皆様に届けられるよう頑張っていきます。





6
6.695km

宗像大社
宗像ユリップス

花野 桃子 選手
21分58秒 区間3位

応援ありがとうございました。今回のプリンセス駅伝は6区を走させていただきました。駅伝前の練習は上手くいかないことが多い方が多くて、チームには負担をかけてしまっていたので、当日くらいは1つでも順位を上げてチームの力になれるようにと走りました。5区までの選手が全力で襷を繋いできてくれたので、みんなの想いを感じながら最後まで前を追って8位でゴールすることができました。沿道ではたくさんの応援団の方が盛り上げて下さり、応援の声が聞こえる度に前に進む力になりました。TVやライブ配信からの応援も本当に力になりました。今回の経験を生かして、クイーンズ駅伝では上位で勝負できるように頑張ります。ありがとうございました。



北村 聰 監督

皆さま、プリンセス駅伝では本当にたくさんのご声援を賜り、誠にありがとうございました。おかげさまで8位入賞で仙台への切符を掴み取ることができました。選手たちのことは信じていましたが、それでもゴールするまでは何があるか分からないので無事にゴールした姿を見届けてようやくホッと落ち着くことができました。走ってくれた6名の選手たちはもちろんですが、8位入賞するにあたってはサポートに回ってくれた選手たちの力がなくてはなりませんでした。表に出ないところではありますが、彼女たちの献身にも感謝しております。また、現地での沿道応援やテレビ、インターネットのライブ放送を観ながらの応援からも本当にたくさんの力を頂きました。心から御礼申し上げます。ありがとうございました。

次がいよいよ本番です。ここからの1ヶ月で精一杯の準備をし、皆様のご声援に少しでもお応えできるよう努めてまいりますので、本戦でも熱いご声援をよろしくお願い致します。



引き続き応援をよろしくお願いします！



11/24日 クイーンズ駅伝 2024

12:15 スタート 宮城県・仙台市

TBS 系列 生中継 11:50 ~